常任理事会だより

山川智之

本稿では，前号で報告後，平成25年7月26日，9月27日，10月29日に開催された計3回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに，日本透析医会の主な活動についてご報告します．

1. 次期診療報酬改定についての要望

平成26年度の診療報酬改定に向けて，日本透析医会として8月16日に厚生労働省保険局医療課を訪問，医会として考え方をご説明させていただきました．そこでのやりとりも踏まえ，これまでの会員の先生方のご意見も参考にさせて頂き，10月30日に再度厚生労働省を訪問し，正式に要望書を提出しました．要望書の内容は，診療報酬改定と同時となる消費税増税における配慮，ESA製剤の使用現況を踏まえた適切な人工腎臓点数の設定，障害加算の感染症患者への適応拡大，人工腎臓請求の月14回制限の緩和，透析患者に対する特定除外制度の存続，および医療療養病床における透析患者の医療区分の見直しです．10月11日には診療報酬改定における透析医会の立場と意見に理解を頂くべく，日本医師会を訪問，鈴木邦彦常任理事にご説明させて頂きました．

来年度の診療報酬改定も，消費税増税の影響も含め厳しい改定になることが予想されますが，引き続き各方面に働きかけを行い，透析医療の現場を守っていく所存です．診療報酬改定の情報が得られましたら会員の皆様にはいち早くご報告させて頂く所存です．

2. 日本透析医会研修セミナーおよびシンポジウムについて

平成25年10月20日（日），大阪市のホテルモントレ グラスミア大阪において，日本透析医会研修セミナー「透析医療におけるCurrent Topics 2013（大阪開催）」を，主題を「透析患者の合併症に備える」として開催しました．日本透析医会の活動の周知，地方組織の先生方との交流も期待して，透析医会の研修セミナーの地方開催は3回目となりますが，272人と多数の参加をいただきました．誠に感謝申し上げます．

次回は，平成26年5月18日（日）に日本透析医会総会と同時開催で，東京で研修セミナーを開催します．また平成26年10月19日（日）には，札幌での開催を予定しております．詳細につきましては，本誌あるいは医会HPにてご案内させて頂きますので，多数のご参加お待ちしております．

日本透析医会常務理事

3. 日本透析医会公募研究助成

日本透析医会は，例年腎臓病，腎不全医療研究者に対する公募研究助成を行っておりますが，今年は31件の申請がありました．たくさんのご申請を頂き誠にありがとうございます．10月29日に研究助成審査委員会にて外部委員を含む厳正な審査を行いました．決定事項については別途ご報告させていただきます．